

第70期

# 報 告 書

平成20年4月1日～平成21年3月31日



## ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援ご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

ここに、当社第70期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の事業概況につき、報告書を作成いたしましたので、次のとおりご報告申し上げます。

なにとぞ株主の皆様のご支援をお願い申し上げます。

平成21年6月

取締役社長 **牧野二郎**

## 営業の概況

### 当期の経営成績

当連結会計年度は、金融問題が実体経済に波及し、世界全体で産業活動が一気に下降に転じました。自動車に代表される耐久消費財の消費冷え込みが関連産業の設備投資の減退につながり、工作機械業界は当連結会計年度第3四半期に入り急激な受注減に見舞われ、大幅な減産を余儀なくされました。同第4四半期に入っても、工作機械需要者の設備稼働率がさらに下がり、他方工作機械市場においては過剰在庫解消が進まず、受注状況はさらに悪化しました。(社)日本工作機械工業会集計による2009年1-3月期の工作機械業界の受注累計額は前年同期比84.6%減の604億円と低水準に終わり、2008年度の同受注累計額は前年度比39.2%減少の9,690億円となりました。当社グループも影響を受け、受注累計額は対前年度比38.8%減の836億36百万円にとどまりました。

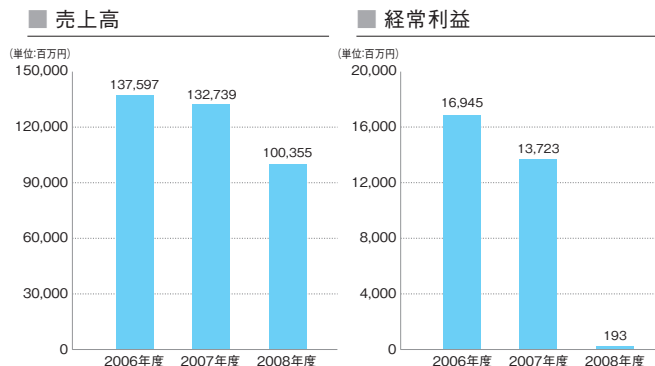
ここ数年の好景気に支えられ増産を続けてきた機械産業は、環境や安全への対応を含めた技術開発を進めて来ましたが、昨年来の経済構造の変化に対応すべくその動きを加速させています。新たな商品の開発にあたって既存の機械設備では不十分であることもあって、工作機械業界にさらなる技術革新を要求しています。当社グループは時代の変化に対応すべく製品開発および加工技術研究を進め、こうした工作機械の技術革新要求に対応出来る体制を整えて参りました。

金型市場の新たな要求に応えるべく開発を進めて参りましたが、主力製品であるVシリーズの中核をなす立形マシニングセンター「V33i」、「V56i」のフルモデルチェンジを完了いたしま

## 目次

株主の皆様へ	1
連結財務諸表	3
主な海外拠点及び地域別売上高推移	5
当社製品及び機種別売上高推移	7
トピックス	8
会社の概要	9
株式の状況、株主メモ	10
ご案内：単元未満株式の買取りについて	11

## 財務ハイライト



した。これらは、金型加工の潮流となっている高精度化と自動化を極めて高いレベルで実現し、新規需要、更新需要の両面で貢献するものと期待しています。さらに、2009年には微細加工領域で新たなマシニングセンタを投入します。

当年度発売の5軸マシニングセンタ「D500」は、需要低迷の環境下でも金型市場を中心に浸透し始めていますが、さらに従来の3軸の考え方で5軸の加工パスの出せる新たな金型用5軸CAMシステム「FF/Five」を2009年4月に発売しています。中、大型金型分野では6軸制御マシニングセンタ「MCC2013VG」を同年1月に発売、リードタイムの大幅削減を実現しました。

当社はプラスチック、アルミダイカスト、ゴムなどのモールド金型を主なフィールドとして活動していますが、プラスチックと並ぶ有力市場であるプレス金型への拡大を図っています。これまで、立形マシニングセンタ「FB127」やNC放電加工機「EDAC1」など超精密加工用商品を投入しましたが、新たにワイヤ放電加工機を発売します。加工液に従来の水ではなく油を使用する超精密タイプで、電子部品や精密機械部品で新たな需要が期待されます。

航空機市場に対しては、2009年2月に発表した大型チタン合金加工用の「MAG/T4」、大型アルミ合金加工用の「MAG/A7」に加え、新たに中型チタン合金加工用の「MAG/T2」を発売して商品群を一層充実させます。

最後に好調なエネルギー市場に向けて、風力発電用ギアボックスや大型ディーゼルエンジン加工に最適な大型5軸マシニングセンタを発売します。また、ガスタービン部品のほか、大型ギアやベアリングなどの難削材を高効率かつ高精度に研削加工する「iGRINDER G10」を発売します。研削と切削の複合加工

工が可能です。

以上の結果、当会計年度の連結売上高は1,003億55百万円（対前年同期比24.4%減）、連結営業損失2億62百万円（前年同期は連結営業利益146億円）、連結経常利益1億93百万円（対前年同期比98.6%減）、連結当期純損失48億35百万円（前年同期は連結当期純利益90億2百万円）となりました。

期末配当につきましては、誠に遺憾ではございますが、無配とさせていただきます。これにより、当期の1株当たり年間配当金は、7.5円となります。

### 次期の見通し

中国での景気回復の兆しが見られ、各国による大掛かりな景気刺激策の効果が待たれるものの、世界経済が本格的に好転する兆しが見られません。工作機械市場においても、2009年度中は引続き厳しい状況が続くと考えられます。

当社は、このような状況下、技術革新への投資を中心とした工作機械業界への期待に応えられるよう体制を整えてまいります。

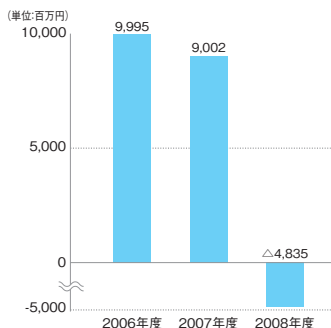
当社グループの次期の連結業績予想は、次のとおりです。

(単位：百万円未満切捨て)

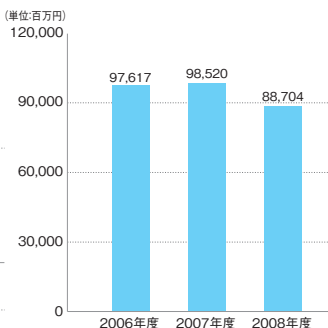
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期連結累計期間	22,000	△8,500	△9,000	△9,000
通 期	51,500	△14,000	△14,500	△14,500

配当につきましては、誠に遺憾ながら中間配当及び期末配当とも見送りとさせていただきます。

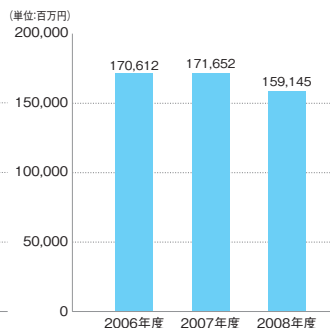
■ 当期純利益



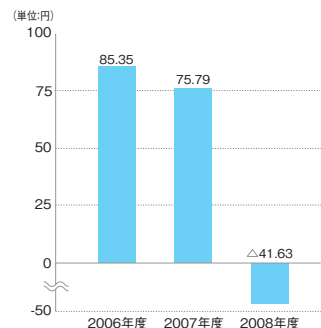
■ 純資産



■ 総資産



■ 1株当たり当期純利益



# 連結財務諸表

## □ 連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	当連結会計年度 平成21年3月31日	前連結会計年度 平成20年3月31日
<b>( 資 産 の 部 )</b>		
流 動 資 産	<b>103,454</b>	<b>113,867</b>
現金及び預金	39,235	21,002
受取手形及び売掛金	24,529	45,313
有 価 証 券	2,160	4,737
た な 卸 資 産	34,365	36,812
繰 延 税 金 資 産	828	2,998
その他の流動資産	3,414	3,425
貸 倒 引 当 金	△ 1,079	△ 421
固 定 資 産	<b>55,691</b>	<b>57,785</b>
有 形 固 定 資 産	<b>40,014</b>	<b>38,735</b>
建物及び構築物	22,462	24,061
機械装置及び運搬具	3,572	3,798
工 具 器 具 備 品	2,558	2,807
土 地	9,628	7,802
リ ー ス 資 産	1,563	—
建 設 仮 勘 定	228	265
無 形 固 定 資 産	<b>937</b>	<b>797</b>
の れ ん	78	117
その他の無形固定資産	859	679
投 資 其 他 の 資 産	<b>14,738</b>	<b>18,251</b>
投資有価証券	7,261	11,585
長期貸付金	493	587
繰 延 税 金 資 産	1,231	824
その他の投資	6,018	5,433
貸 倒 引 当 金	△ 266	△ 52
投資損失引当金	—	△ 126
資 産 合 計	<b>159,145</b>	<b>171,652</b>

科 目	当連結会計年度 平成21年3月31日	前連結会計年度 平成20年3月31日
<b>( 負 債 の 部 )</b>		
流 動 負 債	<b>24,143</b>	<b>51,247</b>
支払手形及び買掛金	11,063	28,308
短 期 借 入 金	4,752	4,491
一年以内に返済予定の長期借入金	611	3,731
未 払 法 人 税 等	603	2,221
役員賞与引当金	—	70
その他の流動負債	7,112	12,424
固 定 負 債	<b>46,297</b>	<b>21,884</b>
社 債	20,000	10,000
長 期 借 入 金	19,314	4,925
繰 延 税 金 負 債	2,699	3,302
退職給付引当金	642	1,625
役員退職慰労引当金	1,309	1,503
その他の固定負債	2,330	527
負 債 合 計	<b>70,440</b>	<b>73,131</b>
<b>( 純 資 産 の 部 )</b>		
株 主 資 本	<b>91,550</b>	<b>94,797</b>
資 本 金	<b>19,263</b>	<b>19,263</b>
資 本 剰 余 金	<b>32,595</b>	<b>32,595</b>
利 益 剰 余 金	<b>42,455</b>	<b>45,171</b>
自 己 株 式	△ 2,764	△ 2,233
評価・換算差額等	△ 4,094	1,043
その他有価証券評価差額金	1,692	4,254
為替換算調整勘定	△ 5,786	△ 3,211
少 数 株 主 持 分	<b>1,249</b>	<b>2,680</b>
純 資 産 合 計	<b>88,704</b>	<b>98,520</b>
負 債 ・ 純 資 産 合 計	<b>159,145</b>	<b>171,652</b>

## □ 連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	当連結会計年度		前連結会計年度	
	自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日		自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日	
売上高	100,355		132,739	
売上原価	76,641		91,458	
売上総利益	23,714		41,281	
販売費及び一般管理費	23,976		26,680	
営業利益又は損失(△)	△ 262		14,600	
営業外収益	1,745		1,066	
受取利息及び配当金	375		404	
為替差益	727		—	
その他の	642		661	
営業外費用	1,289		1,943	
支払利息	626		549	
為替差損	—		1,056	
その他の	663		338	
経常利益	193		13,723	
特別利益	134		99	
固定資産売却益	11		70	
貸倒引当金戻入益	—		29	
関係会社株式売却益	122		—	
特別損失	1,087		698	
たな卸資産処分損	—		27	
固定資産除却損	48		46	
海外子会社営業権評価損(注)	—		249	
投資有価証券評価損	134		12	
投資損失引当金繰入額	—		126	
過年度子会社役員退職引当金繰入額	—		237	
関係会社株式評価損	89		—	
関係会社貸倒引当金繰入額	814		—	
税金等調整前当期純利益又は純損失(△)	△ 759		13,124	
法人税、住民税及び事業税	1,095		3,572	
法人税等調整額	2,965		315	
少数株主利益	15		233	
当期純利益又は純損失(△)	△ 4,835		9,002	

(注) 米国連結子会社において発生している営業権は、米国財務会計基準書第142号に基づき処理しております。

## □ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	当連結会計年度		前連結会計年度	
	自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日		自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日	
営業活動による キャッシュ・フロー	2,872		9,343	
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 7,422		△ 5,694	
財務活動による キャッシュ・フロー	19,396		△ 5,814	
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 824		△ 359	
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	14,021		△ 2,524	
現金及び現金同等物の 期首残高	25,621		27,761	
新規連結に伴う現金 及び現金同等物の増加額	335		384	
現金及び現金同等物の 期末残高	39,978		25,621	

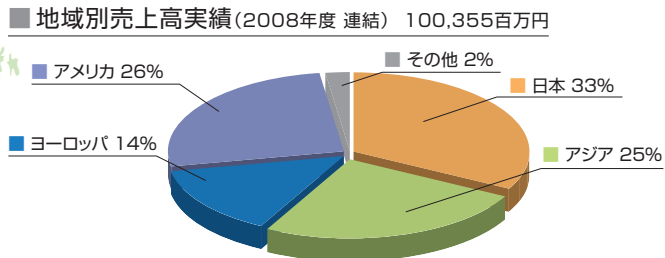
## □ 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(単位：百万円未満切捨て)

項 目	株主資本				評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定			評価・換算 差額等合計
平成20年3月31日残高	19,263	32,595	45,171	△ 2,233	94,797	4,254	△ 3,211	1,043	2,680	98,520
実務対応報告18号の 適用による影響額			1,790		1,790					1,790
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 1,752		△ 1,752					△ 1,752
当期純損失			△ 4,835		△ 4,835					△ 4,835
連結範囲の変動			2,081		2,081					2,081
自己株式の取得				△ 531	△ 531					△ 531
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△ 2,562	△ 2,575	△ 5,137	△ 1,430	△ 6,568
連結会計年度中の変動額合計			△ 4,505	△ 531	△ 5,037	△ 2,562	△ 2,575	△ 5,137	△ 1,430	△ 11,606
平成21年3月31日残高	19,263	32,595	42,455	△ 2,764	91,550	1,692	△ 5,786	△ 4,094	1,249	88,704

# 主な海外拠点及び地域別売上高推移



MAKINO INC. (アメリカ・メイソン)

## テクニカルセンタ

販売、サービス、機械展示、アプリケーションサポートの各機能を持つ拠点です。

ヨーロッパにはドイツ、フランス、イタリア、スロバキア、トルコ、北米にはアメリカ、カナダにあります。

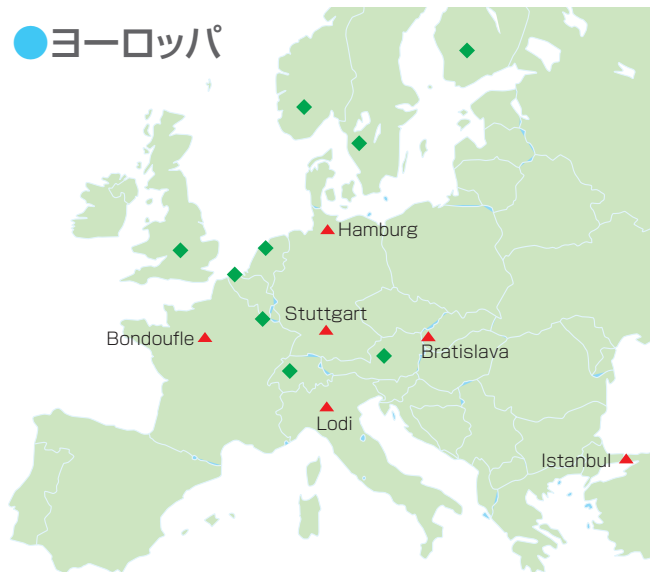
## 営業所

販売、サービスの機能を持つ拠点です。

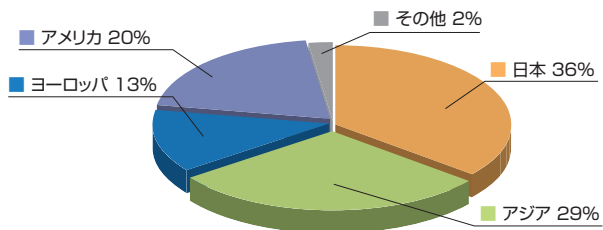


MAKINO Europe GmbH (ドイツ・ハンブルク)

## ヨーロッパ



■ 地域別売上高実績(2007年度 連結) 132,739百万円



- ★ 工場／テクニカルセンタ
- ▲ テクニカルセンタ
- 営業、サービス拠点
- ◆ 代理店

● アジア

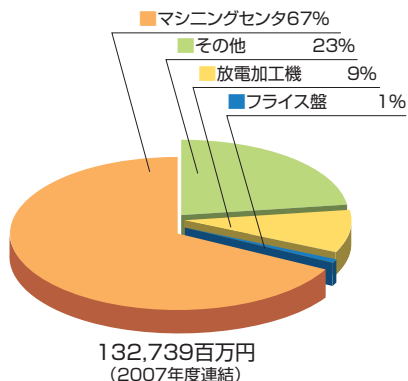
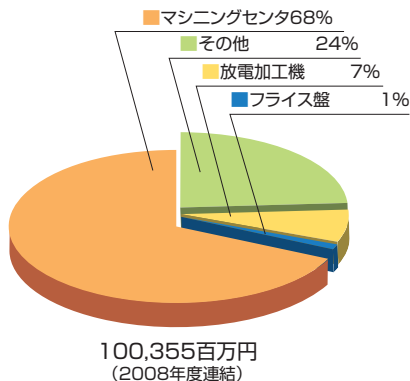


テクニカルセンタは、アジアにはシンガポール、中国、インド、タイにあります。



Pune Tech Center (インド・ブネー)

## 機種別売上高推移



## マシニングセンタ

マシニングセンタは工作機械の1つで、工具を自動で選択・交換ができ、穴あけや面削り等複数の加工を1台でこなします。工具を取り付け回転させる主轴が垂直位置の立形マシニングセンタと水平位置の横形マシニングセンタがあります。



当社の立形マシニングセンタは主に金型の加工に使われています。

当社の横形マシニングセンタは自動車、航空機、建設機械、エネルギー関連及び半導体製造装置などの産業で使用する部品の加工に幅広く使われています。

## 放電加工機

放電加工機は電気による放電エネルギーを利用して加工を行う機械です。放電を行う電極の種類により形彫放電加工機とワイヤ放電加工機に分けられます。



ワイヤ放電加工機は主に自動車、IT製品、電気製品、半導体などの精密金型の加工や医療機器などの精密部品の加工に使われています。

形彫放電加工機は主に自動車、IT製品、電気製品及び半導体などの金型の加工に使われています。

## フライス盤

フライス工具と呼ばれる工具を回転させ平面、曲面、溝などを加工する機械です。





## 第70期の主なトピックス

08年

4月 — 立形マシニングセンタ FB127の発売

5月 — 5軸制御横形マシニングセンタ MAG1の発売  
5軸制御立形マシニングセンタ D500の発売

6月

7月 — 第4回無担保社債の発行 総額100億円

8月

9月 — ワイヤ放電加工機 DU043、DU064の発売

10月 — 立形マシニングセンタ V56iの発売

11月 — 横形マシニングセンタ J5の発売  
ベトナムオフィスを開設  
インドのブネーにテクニカルセンタを開設  
12月 — 自己株式の取得（買付期間11月4日～12月18日）  
2,206千株取得、総額499百万円

09年

1月 — 6軸仕様マシニングセンタ MCC2013VGの発売

2月 — 5軸制御マシニングセンタ MAG/T4の発売  
5軸制御マシニングセンタ MAG/A7の発売

3月



MAG1



FB127



D500



DU043



J5



V56i



MAG/T4

# 会社の概要

## 会社の概要 (2009年3月31日現在)

- **社名** 株式会社 牧野フライス製作所
- **英文社名** Makino Milling Machine Co., Ltd.
- **所在地** 東京都目黒区中根 2丁目3番19号  
〒152-8578 電話 03(3717)1151(代表)
- **創業** 1937年 5月
- **資本金** 19,263百万円
- **従業員** 1,276名(単体) 3,741名(連結)
- **主要な事業内容**

工作機械（マシニングセンタ、NC放電加工機、NCフライス盤、フライス盤、FMS、CAD/CAM等）の製造・販売及び修理

### ● 主要な拠点

当社本社（東京都目黒区）

国内生産拠点：当社厚木事業所（神奈川県愛甲郡）

当社富士勝山事業所（山梨県南都留郡）

マキノジェイ(株)（神奈川県愛甲郡）

海外生産拠点：MAKINO ASIA PTE LTD（シンガポール）

牧野机床（中国）有限公司（中国）

MAKINO INDIA PRIVATE LIMITED（インド）

国内販売拠点：東京営業課（東京都目黒区）

大阪支店（大阪府東大阪市）

名古屋支店（愛知県名古屋市）

北関東支店（埼玉県さいたま市）

太田営業所（群馬県太田市）

福岡営業所（福岡県太宰府市）

海外販売拠点：MAKINO INC.（アメリカ）

MAKINO Europe GmbH（ドイツ）

MAKINO ASIA PTE LTD（シンガポール）

牧野机床（中国）有限公司（中国）

MAKINO INDIA PRIVATE LIMITED（インド）

当社の最新情報はここから

ホームページアドレス

<http://www.makino.co.jp/>



# 株式の状況、株主メモ

## 株式の状況 (2009年3月31日現在)

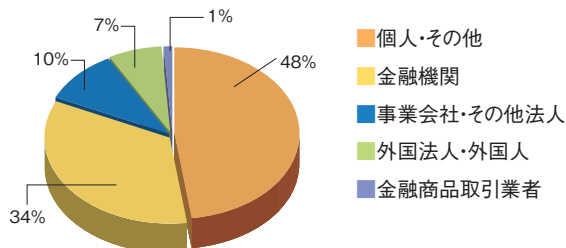
- 発行済株式総数 119,944,543株
- 株主数 14,808名
- 大株主(上位10名)

株主名	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数の割合 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,597	8.83
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	7,112	5.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,111	5.93
財団法人工作機械技術振興財団	4,469	3.73
牧野二郎	2,476	2.06
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,180	1.82
日本興亜損害保険株式会社	2,135	1.78
牧野駿	1,977	1.65
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金特金口)	1,897	1.58
日本生命保険相互会社	1,760	1.47

(千株未満切捨て)

(注) 当社は自己株式を5,309千株(4.43%)所有しておりますが、上記には含めておりません。

## ●所有者別株式分布



## 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金  
受領株主確定日 3月31日

中間配当金  
受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人  
三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の  
口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
電話 0120-232-7111(フリーダイヤル)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行う  
公告掲載URL <http://www.makino.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 单元未満株式の買取請求（当社へのご売却）のご案内

当社の单元未満株式（1,000株未満の株式）をご所有の株主様は、この单元未満株式を当社に対し売却すること（買取請求）が可能となっております。

**单元未満株式の買取りを希望される株主様は、次の口座管理機関にお申出ください。**

- ・株主様が証券会社等に口座を開設し、株式をお預けになっている場合は、その口座開設先にお申出ください。
- ・このほか、特別口座が開設されている株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出下さい（連絡先は株主メモの項目をご参照ください）。

### 株式会社 牧野フライス製作所

本社 〒152-8578 東京都目黒区中根2-3-19

電話 03 (3717) 1151(代)

ホームページ <http://www.makino.co.jp/>

